

2025(令和7)年度 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業実施体制(兵庫県教育委員会)

【課題】

- ★日本語指導が必要な外国人児童生徒が、年々増加傾向にある
【2012(平成24)年 774人
→2025(令和7)年 1,962人】
- ★地域に散在していることから、支援及び指導方法にばらつきがみられるため、指導・支援体制を整備する必要がある。

事業の目的

- ① 指導・支援体制の充実
 - ・県と市及び地域間の連携を強化し、日本語指導が必要な児童生徒等の指導・支援体制の整備・充実を図る。
- ② 日本語指導の充実
 - ・「日本語能力測定方法」活用による効果的な指導
 - ・「特別の教育課程」による日本語指導が必要な児童生徒一人一人に対するきめ細かな指導
- ③ 就学支援の充実
 - ・県と市及び地域間の連携の強化による就学支援体制の構築

【兵庫県教育委員会】

- 運営協議会の設置・開催(年2回)
- 日本語指導研究推進校連絡会(年3回程度)
- 就学支援ガイダンスの実施及び指導助言(県内5地域)
- 成果の普及

事業成果の報告

【国】

各都道府県の取組等を全国に発信

【外国人児童生徒等に対する教育支援運営協議会】(年2回)

- ・現状と課題の整理
- ・取組の成果と課題等の集約、報告(情報共有)
- 学識経験者1名、県国際課1名 県国際交流協会1名、関係教育事務所担当者3名、関係市教育委員会担当者5名 等

- ・現状把握
- ・課題および改善
- ・成果ならびに報告

日本語指導研究推進校連絡会

- 【日本語能力測定方法の活用及び「特別の教育課程」にかかる協議】
- 対象者 市町教育委員会、学校関係者等
- 内容
 - ・日本語能力測定方法を活用した日本語能力の把握
 - ・日本語能力に応じた日本語指導の充実
 - ・個別の支援計画の作成、指導等
 - ・「特別の教育課程」による日本語指導の体制づくり
- 【日本語指導等にかかる先進地の取組状況の視察】
(愛知県)

効果的な日本語指導実践の蓄積及び交流
「特別の教育課程」による指導目標の達成
(補助対象市内小・中学校:100%)

就学支援

- 【就学支援ガイダンス】
- 対象者 外国人児童生徒及び保護者及び学校関係者等
- 内容
 - ・学校制度等の説明
 - ・先輩の体験発表
 - ・進路相談等
- 【『就学支援ガイドブック』の充実】

外国人児童生徒等にかかる課題やニーズ等の把握
(兵庫県内不就学外国人児童生徒数0名へ)

就学状況の把握

- 【就学状況調査】
- 調査対象 県内全市町の学齢期の外国人児童生徒
- 調査内容 不就学等の外国人児童生徒の就学状況 他

【県内市町】

【補助対象市】(芦屋市、三木市、丹波篠山市)

- 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営
 - 市内地域間の連携を重視した取組の周知・普及及び課題の共通理解他
- 学校における指導体制の構築
 - 地域内の外国人児童生徒に対し、日常言語と学習言語の習得を促進させるための拠点校の設置や拠点的機能の整備等による指導体制を構築
- 「特別の教育課程」による日本語指導の実施
 - 個別の指導計画の作成や、指導方法及び学習評価などの実施
- 日本語能力測定方法等を活用した実践・検証
 - 日本語能力測定方法等を活用し、日本語指導に生かすための実践・検証
- 成果の普及 等
 - ホームページ等による成果報告書の公表 等

【その他市町】

- 県及び補助対象市からの情報等の活用
- ガイダンスの周知、就学状況調査の回答他